

第 8 回 津山市総合計画審議会 次第

日 時：平成 17 年 10 月 31 日(月)

午後 1 時 30 分～

場 所：福社会館 4 階 大会議室

1 . 開 会

2 . 会長あいさつ

3 . 議 事

(1) 協議事項

基本構想(案)について

4 . そ の 他

5 . 閉 会

(次回の会議日程)

日 時：平成 17 年 11 月 7 日(月)

午後 1 時 30 分～

場 所：福社会館 4 階 大会議室

基本構想に対する第7回審議会の質問事項・意見等に対する考え方

意見・指摘事項	委員名	総合計画における考え方
<p>少子化をとめるのは、男女共同参画がキーポイントである。この視点をしっかり積み上げていく必要がある。社会活性のためにも男女共同参画の視点を入れるべきである。</p>	<p>重松</p>	<p>第3次総合計画期間中に、男女共同参画社会への体制整備もでき、ネットワーク化も進んできた。第4次総合計画においては、今後策定する基本計画の中で、具体的施策を盛り込んでいきたい。</p>
<p>行財政基盤の強化の考え方は。</p>	<p>豊田</p>	<p>総合計画の策定にあたっては、財政計画との整合性を十分配慮していきたい。そのため合併効果を活かし、さらには行財政改革に取り組むことにより、財政基盤の強化を進めていきたい。また、具体的な事業選定にあたっては、事業評価を行うことにより、効率的、効果的な事業実施を図っていきたい。</p>
<p>結婚支援をどのように考えているか。</p>	<p>平井恵</p>	<p>雇用の創出、子育て支援の充実など、若者が定住し、安心して結婚できる環境を整備することが、結婚支援につながるものと考えている。</p>
<p>状況変化が大変早い時代において、総合計画における期間10年は長いのではないか。期間途中で見直しはあるのか。</p>	<p>田中</p>	<p>基本構想、基本計画は、合併時の新市建設計画が10年間の計画であることから合わせた。また、時代の変化に対応すべく、実施計画を策定して、その期間を3年、3年、4年と考えている。</p>